

2022-23年度の各委員会の方針

- | | | |
|------------------------------|-----|---------|
| 1) クラブ奉仕委員会
(職業分類・会員選考兼務) | 委員長 | 武 枝 敏 之 |
| ①会員増強委員会 | 委員長 | 谷 野 桂 子 |
| ②親睦委員会 | 委員長 | 豊 島 了 雄 |
| ③雑誌・広報・会報委員会 | 委員長 | 澤 木 政 光 |
| HP (ホームページ) 担当 | 委員長 | 村 司 辰 朗 |
| 2) 職業奉仕委員会 | 委員長 | 村 司 辰 朗 |
| 3) 社会奉仕委員会
留学生支援担当 | 委員長 | 眞 下 節 二 |
| | 委員長 | 宮 田 幹 二 |
| 4) 国際奉仕委員会
カウンセラー | 委員長 | 横 田 広 司 |
| | 担 当 | 武 枝 敏 之 |
| | | 都 井 正 剛 |
| | | 眞 下 節 二 |
| | | 宮 田 幹 二 |
| | | 小 川 佳 伸 |
| | | 岩 本 洋 子 |
| 5) 青少年奉仕委員会
教育問題検討委員会 | 委員長 | 原 和 永 |
| | 委員長 | 畑 田 耕 一 |
| 6) R財団・R情報・研修委員会 | 委員長 | 北 村 公 一 |
| 7) 米山奨学委員会
米山カウンセラー | 委員長 | 小 寺 潤 一 |
| | | 岩 本 洋 子 |
| 8) クラブ史編集・規定細則委員会 | 委員長 | 米 田 眞 |
| 9) 未来計画委員会 | 委員長 | 北 村 公 一 |
| 10) SAA | | 松 山 辰 男 |

1) クラブ奉仕委員会(職業分類・会員選考兼務)

委員長 武枝 敏之

クラブ奉仕委員会は、4つの委員会すなわち職業分類・会員選考委員会、会員増強委員会、親睦委員会、雑誌・広報・会報委員会を統括する委員会です。それぞれの委員長の方針に従い協力していきたいと考えております。ただ、現状では、十分な活動が出来ていない委員会があるのも事実です。その為、委員会の統廃合が検討されてきており、今年度も引き続きその検討を加えたいと考えております。その為、早い機会にクラブ奉仕委員会を開催したいと考えております。

地区では、2022-2023年度より地区中期3ヶ年目標を策定しております。それに従い各クラブにおいても、クラブ戦略計画策定ガイドに従い策定を求められております。その戦略計画の中で重要な事項として、会員増強が挙げられております。今ロータリークラブは、会員増強、外なる人づくり、公共イメージ向上が大きなテーマです。クラブ奉仕委員会はこれらのことにかかわる大切な役割を担う委員会だと考えております。各委員長と連携を図り活動したいと思います。

①会員増強委員会

委員長 谷野 桂子

ここ数年に及ぶコロナ感染症拡大の影響により、会員増強活動が制限され、それによる会員減少は当クラブのみならず、ロータリークラブ全体における大きな問題です。

当クラブでは、それに加え会員の高齢化が進み、新しい試みをしようと思ってもなかなか出来ない現状である。若い年齢の方たちに興味を持っていただける、入会しやすい環境作りに努力してまいりたいと思います。

②親睦委員会

委員長 豊島 了雄

ロータリー活動は、奉仕と親睦の両輪から成り立ち、会員相互の親睦を深めることによって、奉仕活動の充実をはかることと考えます。

本年度の活動として、親睦委員会のメンバーは形式上構成されていますが、クラブ会員全員が親睦委員会のメンバーだと認識致しております。

よって、今まで受け付け当番を決めていましたが、今年度は廃止致します。皆様方の自主性にお任せし、円滑な会務が行えることを切望致します。

尚、年間行事につきましては、例年通りの開催となります。会員の皆様方の意見を拝聴し手作り活動になればと思います。

本年度一年間の皆様方の御協力をお願いいたします。

③雑誌・広報・会報委員会

委員長 澤木 政光

前年度に引き続き、再度、当委員会を担当させて頂くことになりました。従って、活動方針は前年度と大差ありません。

週報は会員にとってクラブの現況を認識する上でとても大切なメディアであり、クラブ史編集の最重要資料となるものです。週報の編集に当たっては、随時、文字並びに記事の内容の正確さに留意し、紙面作りには事務局の松宮さんの豊富なアイデアを活用させて頂き、より充実した週報をお届けできるよう努めます。

ロータリーの機関雑誌・地域雑誌の「ロータリーの友」はミリオンセラーにふさわしく、世界的ネットワークを駆使して国内外のロータリー情報とロータリアンの好意と友情を深める記事を満載して私たちに提供してくれます。毎月2週目の例会時に特筆的な記事を選んで皆様にご紹介します。ロータリーの知識を深め、クラブ活動のヒントを得る糧として活用しましょう。

HP(ホームページ) 担当

委員長 村司 辰朗

現状は週報と行事予定の更新が定期的な活動となっています。

- ・週報と行事予定はできるだけ早く更新することを目指したいと思います。
- ・留学生の卓話原稿もできるだけ掲載したいと思います。

ホームページを閲覧する会員の役に立つ情報を迅速に掲載して、会員に見ていただけるものになりたいと思います。そのために事務局との連携を強め、迅速なデータ更新を目指したいと思います。

2) 職業奉仕委員会

委員長 村司 辰朗

今年度の職業奉仕委員会の予定は、11月20日(日)に職場見学と秋の家族会を行います。一昨年の「佐川美術館」、昨年の「森の中の家 安野光雅館」に続いて今年度の職場見学は、事業で財を成し、地域文化の発展と地元への報恩の意を込めて開設された「和泉市久保惣記念美術館」を訪ねます。久保惣は明治17年、初代久保惣太郎(文久3～昭和3)が創業した地場繊維業のトップクラスで、初代の蒐集になる富岡鉄斎の泉州滞在期の三幅が久保惣コレクションのはじまりです。その後、茶道を好んだ二代目(明治23～昭和19)と三代目を中心に昭和初期から戦後にかけて意欲的な蒐集を行ない、国宝2点、重要文化財29点を含む絵画、書跡、陶磁、金工、漆工など約500点の東洋古美術品を蒐集しました。会社は昭和53年、政府の構造不況業種に対する転廃業指導に則り転廃業の止むなきに至りましたが、昭和52年8月郷土への感謝と文化振興のためコレクションを和泉市に寄贈、美術館用地と建物の寄贈も行ない、昭和57年10月和泉市久保惣記念美術館が発足しました。美術館で特に人気の所蔵品は、剣術家・宮本武蔵(1584～1643年)が描いた「枯木鳴鶴図」(重要文化財)です。ほかに国宝として、青磁鳳凰耳花生 銘万声、歌仙歌合の2件があり、その他重要文化財が29件あります。また、茶室3棟と付属建物など10件が国の登録有形文化財に登録されています。

ぜひこの機会に、会員家族の皆様と訪れたいと思います。

その後の家族会は池田市にある雅俗山荘に移動して懇親会を行う予定です。

そして1月17日(火)、職業奉仕月間にちなんでの卓話の後、職業奉仕フォーラムを開催します。職業奉仕について理解を深めるフォーラムにしたいと思います。こちらも皆様のご参加をお願いする次第です。

一年間よろしくご協力をお願いいたします。

3) 社会奉仕委員会

委員長 眞下 節

2022～2023年度の社会奉仕委員長を務めさせていただくにあたり新年度の運営方針を述べさせていただきます。

昨年度に職業奉仕委員会委員長を経験させていただいて今年度は社会奉仕委員会委員長を拝命したことは、ロータリークラブの奉仕の内容と広がりを理解・経験する貴重な機会を頂いたものと理解しています。ロータリークラブ入会前の個人的な社会奉仕体験として思い浮かぶことは、大学病院勤務時代に公益法人である日本麻酔科学会で毎年行ってきた社会奉仕活動で、心斎橋地下街など街中に繰り出して一般市民に対して麻酔に対する啓発や健康相談などを実施したことです。

当クラブ社会奉仕委員会の年間活動予定は、

1. 豊中市主催の「社会を明るくする運動」に参加することと子ども食堂の支援なども含みます。
2. 社会奉仕月間において卓話および社会奉仕フォーラムの開催。
3. 大阪大学の留学生支援をすること。支援内容については留学生支援委員会と話し合っています。

今年度の社会奉仕委員会の企画に対して、できるだけ多くの会員の皆さまのご参加とご協力をどうかよろしくお願い申し上げます。

留学生支援担当委員会

委員長 宮田 幹二

豊中RCの留学生支援奨学金は、大阪大学大学院理学研究科と基礎工学研究科の博士後期課程の私費留学生に、3年間を限度として毎月6万円が支給されています。この豊中RC奨学金は、生活支援に加えて、ロータリーの心を通してのロータリアンとの親睦が特徴であり、異文化理解と国際交流のための国際奉仕活動の一つです。

現在の豊中RC奨学生は、Yugoviandi Primanda Mamahit君(支給期間:2019年10月から2022年9月までの予定、研究:糖蛋白質の生理学的役割)とEmre Yesil君(支給期間:2022年4月から2022年9月までの予定、研究:有機超電導体の構造と物性)です。

国際奉仕委員会カウンセラーを中心に親睦を深めています。例会出席(義務として月一回)、例会後の懇談会、卓話(原則、年一回)、歓送迎会、春秋のRYLAセミナー、春秋と年度末の家族会、会員の自由企画による各種懇親会(夕食会、茶会、会員宅訪問、バーベキュー、ハイキング、花見など)など、様々な親睦の機会が年間を通して用意されています。

奨学資金(毎月6万円、二人で年間144万円)は、各会員からの普通寄付(年間2万円(四半期毎5千円))、RI2660地区補助金(毎年公募、一名一回のみ応募可、年間奨学金の半額補助)、奉仕会計からの援助(昨年度30万円)、会員からの特別寄付(昨年度24万円)などで賄われています。

留学生への皆様の御支援をお願い致します。

4) 国際奉仕委員会

委員長 横田 広司

昨年度の国際奉仕委員会で(GG2236914)を申請し、手続き中の状態でしたが、先日、地区からDDFの承認をいただき、現在はTRFの承認待ちとなっております。

今年度は前年度から引継ぎの年度となり、タイ国での現地調査を行っていく予定です。前のGG2123900もコロナ禍にあり、現地調査が出来ていません。前年度、今年度合同での現地調査をお願いしたいと思います。実施時期は来年春ごろになると思いますが、できるだけ多くの方のご参加をお願いいたします。

一年間の活動に会員皆様のご協力をお願いいたします。

カウンセラー

武枝敏之、都井正剛、眞下 節、宮田幹二、小川佳伸、岩本洋子

豊中RCの国際奉仕活動の一つとして、豊中RC留学生や米山奨学生との親睦を図り、異文化理解と国際交流を深めます。この活動は、ロータリーの心を通しての、ロータリアンとの親睦が特徴であり、五大奉仕活動と密接に関係します。さらに、有志会員による、個性的な交流活動(茶話会、食事会、会員宅招待、ハイキング、観劇など)を促進し、支援します。

- ・ 会長、会長エレクト、直前会長は、活動全般を担い、責任者になります。地区補助金申請の署名、問題発生時の地区との連絡などに関与します。
- ・ 幹事は、有志会員による個性的な交流活動の窓口になり、留学生や会員への広報を担います。
- ・ クラブ奉仕委員長は、例会や家族会に関し、出欠席、役割分担、卓話、歓送迎会などに関与します。
- ・ 職業奉仕委員長は、職場見学などを通して、留学生に職場案内などができます。
- ・ 社会奉仕委員長は、地区の社会奉仕活動と連携し、第2660地区補助金の獲得に努めます。
- ・ 国際奉仕委員長は、豊中RCや第2660地区の国際奉仕活動との連携を図ります。
- ・ 青少年奉仕委員長は、秋・春のRYLA、教育フォーラムへの参加を促します。

(文責:留学生支援担当委員会委員長 宮田幹二)

5) 青少年奉仕委員会

委員長 原 和永

吉川委員長の後任として、青少年奉仕委員長を拝命致しました。

昨年も一昨年に引き続き、コロナ禍の影響で、青少年との交流や奉仕活動の制限や中止がありました。今年度は、青少年フォーラムや出前授業を開催していくことを実行したいと思います。また、前任の吉川会員から引き継ぎ「子供食堂」へのカレーと米の寄付を行います。「青少年フォーラム」は能力開発事業を主体にして、ビジネス・スポーツ・学習で実績を上げられている企業から講師を招き、フォーラムを行って頂く計画を企たしております。コロナやロシアウクライナ戦争等、暗い世の中が続きますが、青少年達が明るい未来に向かうように進めて行きたいと思っております。

宜しく申し上げます。

教育問題検討委員会

委員長 畑田 耕一

コロナウイルス感染症が蔓延し、豊中RC恒例の教育フォーラムはここ数年、開催できませんでしたが、今年度は感染対策を万全にし、開催に向けて計画していこうと思っている。

豊中市内の小学校や中学校での出前授業については、豊中ロータリークラブはかなり広い分野の授業への対応が可能なので、要望があり次第対応していきたいと思っている。

皆様のご協力、よろしくお願い致します。

6) R財団・R情報・研修委員会

委員長 北村 公一

ロータリアンはたえずロータリー精神を養うことを心がけねばなりません。そのためにロータリーにおける会員研修の重要性とロータリー活動を支えるR財団の意義の再認識が望まれます。今年度もこれまで例年続けられている新会員研修ハンドブックのさらなる充実に取り組みます。

会員研修を充実させるための取り組みとして「会長の時間」や「研修委員の卓話」において研修やR財団関連の話題をとりあげていただく予定です。

7) 米山奨学委員会

委員長 小寺 潤一

当クラブは伝統的に多くの留学生に対する支援を行っております。

奨学生はそれぞれロータリー精神を理解して母国と日本の懸け橋となっております。今期も当委員会は米山奨学生のみならず豊中ロータリークラブ留学生と担当委員会と協力して交流を深め支援していきたいと思っております。

また、米山奨学会への寄付も会員一人30,000円(年間)となっております。今はコロナ禍であります。

事業を運営されておられる方々も大変な時期だと存じます。米山奨学生を初め、豊中ロータリークラブの奨学生も厳しい環境の中で学ばれております。このような時こそ、我々ロータリアンが力を合わせる事が大切なことだと思います。

米山奨学生、未来を担う若い方々の為にも、皆様のご協力を心よりお願い致します。

(2021-22、2022-23年度) 米山カウンセラー担当

岩本 洋子

この場をお借りして、バストラ・スミタさんのプロフィールなどレポートして残しておきます。

記

1. バストラ・スミタさんは令和3年4月から米山奨学生となった、ネパール人の女性です。3月に会長・幹事・米山奨学委員長・カウンセラーなどで歓迎会をしましたが、その後、コロナ禍で例会が休会になっていましたので、時々しかお目にかかることができなかったです。
2. 10月は米山月間であり、それに合わせて、会員の前で自己紹介や研究内容について卓話をし、て頂く計画で、カウンセラーの私と共に8月から原稿作成やパワーポイントの画像作成を始め

ました。予行演習も実施しました。そして、10月5日に例会が再会されたその日に、自己紹介卓話をしてもらいました。日本語も大変お上手で、パワーポイントも良くできており、会員一同が感心しました。日本語で会話が弾むことがわかったので、何人かの会員がネパールで国際奉仕をした時の話しなどを話しかけていました。卓話で、米山奨学生に採用され、経済的な余裕とともに時間的な余裕ができたので、全く日本語の話せないネパール人小学生のために神戸まで行って日本語を教えている話をしてくださいました。米山奨学生が自らボランティアをしてくれています。

3. 10月10日日曜日は、豊中ロータリー奨学生の2人(中国人の女性、インドネシア人の男性)と2年前まで豊中ロータリー奨学生であった1人(香港の男性)とみんなで小旅行に行きました。福知山～久美浜とまわり、食事も一緒にして楽しかったです。
4. これまで米山奨学生というと博士号をとることに注力していたのですが、むしろロータリーとしては日本の国を見てもらう、ロータリアンと交流して楽しんでもらう、奨学生の横のつながりをもってもらう、このような「楽しい企画」をしていくことが大切だと感じました。
5. バストラ・スミタさんは、ネパールで1996年から2006年にかけて起こった内戦の時に、行方不明になった人たちがいる少数民族に多数発生していることに注目して、その原因は何か、内戦の原因、少数民族の立場、などについて調査しています。この調査のために、令和3年11月から約60日間、日本を離れてネパールへ帰国し調査をすることになり、米山奨学会の出国許可を得てネパールに行きました。
6. そして、令和4年1月に日本に帰国することになって、カトマンズの空港に行ってPCR検査を受けたところ、PCR検査でコロナ陽性反応が出ました。そのため自宅へ戻り、自宅で静養していました。この連絡を受けたときは、私たち豊中ロータリークラブのメンバーは本当に心配しました。バストラ・スミタさんは、菜食主義者で体も小さく、体重も少なく、決して体が頑丈とはいえない人です。その人がネパールでコロナにかかった、ということを知って、クラブ中が本当に心配しました。しかし、自宅で静養して何とか回復して、日本へ帰国することができました。この間、豊中ロータリーと連絡を密にとっておりましたし、米山奨学会にも帰国が遅れることなど報告しました。
7. 来日後は、すぐに豊中ロータリークラブの会合に顔を出してくれましたし、その後のいろいろな会合や例会にも出席してくれまして、元気になったことがわかりました。以上のような状況で、本当にコロナが世界中に広がっていることを、米山奨学生を介して実感することができました。この間に、たくさんの方が心配してくれて、応援してくれたことをご報告します。
8. バストラ・スミタさんは、3月末の幹事さんの自宅でのお花見会にも来てくれましたし、4月のロータリー家族会の天橋立小旅行にも来てくれました。順調に勉強もロータリー生活も進行していることをお知らせ致します。今年度も豊中がお世話クラブです。

8) クラブ史編集委員会・規定細則委員会

委員長 米田 眞

2019 年末から 2022 年までの新型コロナ感染症が流行し、まんえん防止等重点措置が有り色々な行事も行えずクラブの理事会もオンラインで行われました。ただし新会員歓迎会・秋の家族会・年末家族会・春の家族会などは感染症対策を充分に行う事が出来ました。

本年度から新しく加わりました規定・細則委員会に関しましては2022年のRIの規定審議会の結果並びに当クラブの委員会再編などを考慮して検討したいと思います。

9) 未来計画委員会

委員長 北村 公一

本委員会の目的はクラブを育てるための未来計画を考えることであり、その目標は既存の委員会の計画立案ならびにその実行の支援にあります。したがって本委員会は常に既存の委員会と密接な接触のもとに仕事をする必要があります。(第2回未来計画委員会議事録2014年2月18日より)。今年度は当クラブの現状について会員の意見を聴取し問題点を洗い出し、その該当委員会を支援してゆきます。

10) SAA

松山 辰男

2020年初めより新型コロナウイルスが世界中に拡散し始め、食事を伴う会合や、密な会合は当局より自粛を要請され、緊急事態宣言発令下には、例会をはじめあらゆる活動が中止されるといふ異常な状態が、想定以上に長く続いており、2年半経って2022～23年度もまだ終息しないまま始まろうとしています。例会開催については、地区においては一切中止を指示することはなく、新年度も当然各クラブの裁量に任せられています。豊中ロータリークラブとしては、会長の決定に従い、以前のような秩序ある、格式の高い、そして楽しい例会を復活させたいと考えています。

Ⅵ 付 表

2022～2023年度 予 算 表

豊中ロータリークラブ 一般会計予算

(単位:円)

収 入	
前年度繰越金	2,812,388
収 入	13,865,000
計	16,677,388
支 出	
分担金・運営管理費	12,856,770
奉仕活動助成金	700,000
周年記念事業積立金	200,000
事務局慰労積立金	100,000
留学生基金	700,000
予 備 費	2,120,618
計	16,677,318

豊中ロータリークラブ 奉仕会計予算

(単位:円)

収 入	
前年度繰越金	1,441,250
一般会計より受入金	700,000
留学生基金から受入金	1,440,000
収入(ニコニコ箱寄付金)	2,500,000
計	6,081,250
支 出	
奉 仕 部 門	4,540,000
S A A 費	480,000
留学生基金積立金	200,000
特別事業準備積立金	100,000
予 備 費	761,250
計	6,081,250

※別に

特別事業準備積立金 4,346,551

周年記念行事積立金 1,725,476

事務局慰労積立金 1,136,232

留学生基金 923,912

(2022.6.末 現在)

2022～23年度 一般会計予算（内訳）

(収入)		(単位:円)
前年度繰越金	2,812,388	
通常会費	10,500,000	
来客登録料	36,000	
入会金	200,000	
雑収入	3,129,000	
収入合計	16,677,388	

RI及び地区分担金	3,241,350	小計
人頭分担金	350,350	70ドル/人
米山普通寄付	210,000	6000円/人
地区運営資金	350,000	10000円×35
地区活動資金	245,000	7000円×35
地区大会資金	175,000	5000円/人
地区大会登録料	175,000	5000円/人
R財団ポリオ寄付(60ドル)	294,000	60ドル/人
R財団160ドル寄付	784,000	160ドル/人
R財団恒久基金(40ドル)	196,000	40ドル/人
IM分担金	175,000	5000円/人
地区協議会	90,000	会員数30～50名 9万円
第1組15RC	50,000	会長・幹事会
ロータリアン誌	144,000	ロータリーの友
ロータリー手帳	3,000	ロータリー手帳
会議費	4,148,900	小計
会合費	200,000	
例会食費	3,948,900	
事務管理費	5,466,520	小計
リース料	14,520	
人件費	1,140,000	
外注費	2,335,000	
通信費	223,000	
什器備品費	30,000	
消耗品費	300,000	
交際費	200,000	
借室料	984,000	
諸雑費	240,000	
分担金、運営管理費合計	12,856,770	(上記合計)
奉仕活動助成金	700,000	
周年記念行事積立金	200,000	
事務局慰労積立金	100,000	
留学生支援金	700,000	
予備費	2,120,618	
支出合計 (35人。1ドル140円で計算)	16,677,388	

2022～23年度 奉仕会計予算（内訳）

(収入)		
前年度繰越金	1,441,250	
一般会計から受入	700,000	
留学生基金から受入	1,440,000	
ニコニコ箱寄付金	2,500,000	
収入合計	6,081,250	

クラブ奉仕委員会	590,000	
親睦委員会	800,000	
雑誌・広報・会報委員会	60,000	
職業奉仕委員会	150,000	
社会奉仕委員会	450,000	
留学生支援	1,440,000	5000円×37×4×2
国際奉仕委員会	800,000	
(サンマテオ)	10,000	
青少年奉仕委員会	180,000	
(教育問題検討)	10,000	
R財団委員会	40,000	
米山奨学委員会	10,000	
奉仕部門小計	4,540,000	
SAA費	480,000	
留学生基金積立金	200,000	
特別事業準備積立金	100,000	
予備費	761,250	
支出合計	6,081,250	

地区補助金			
DDF申請 GG2236914 タイへの医療機器贈呈	国際奉仕	\$20,000	2,660,000円(1ドル133円)
DG2022 子ども食堂への食材の寄付	社会奉仕	\$2,891	393,176円(1ドル136円)

2022-23年度の報告

- | | | |
|------------------------------|----------------|---|
| 1. 会務 | | |
| 1) 会長職務 | 会 長 | 都 井 正 剛 |
| 2) 幹事職務 | 幹 事 | 岩 本 洋 子 |
| 2. 各種委員会 | | |
| 1) クラブ奉仕委員会
(職業分類・会員選考兼務) | 委 員 長 | 武 枝 敏 之 |
| ① 会員増強委員会 | 委 員 長 | 谷 野 桂 子 |
| ② 親睦委員会 | 委 員 長 | 豊 島 了 雄 |
| ③ 雑誌・広報・会報委員会
HP担当 | 委 員 長
委 員 長 | 澤 木 政 光
村 司 辰 朗 |
| 2) 職業奉仕委員会 | 委 員 長 | 村 司 辰 朗 |
| 3) 社会奉仕委員会
留学生支援担当 | 委 員 長
委 員 長 | 眞 下 節
宮 田 幹 二 |
| 4) 国際奉仕委員会
カウンセラー | 委 員 長
担 当 | 横 田 広 司
武 枝 敏 之
都 井 正 剛
眞 下 節
宮 田 幹 二
小 川 佳 伸
岩 本 洋 子 |
| 5) 青少年奉仕委員会
教育問題検討委員会 | 委 員 長
委 員 長 | 原 和 永
畑 田 耕 一 |
| 6) R財団・R情報・研修委員会 | 委 員 長 | 北村公一(代筆 岩本洋子) |
| 7) 米山奨学委員会
米山カウンセラー | 委 員 長 | 小 寺 潤 一
岩 本 洋 子 |
| 8) クラブ史編集・規定細則委員会 | 委 員 長 | 米 田 眞 |
| 9) 未来計画委員会 | 委 員 長 | 北村公一(代筆 岩本洋子) |
| 10) SAA | 委 員 長 | 松 山 辰 男 |

1. 会務

1) 会長職務

会 長 都 井 正 剛

会長を拝命して残り2-3回の例会を残すだけになりました。本年度は中井会員がご逝去されロータリークラブにとって大きな損失となりました。また誠に残念なことです。長年ロータリークラブの重鎮でいらした木村会員、北村会員が退会され、長年の功績に対し名誉会員になっていただきました。一方不動産業の藤田充男氏、建設・不動産営業の舟橋輝夫氏が新入会されました。ロータリークラブのよき伝統を引き継いでいってほしいと思います。しかしながら会員は減少傾向です。9月にはコロナの影響を受けて例会は休会になりフォーラムが少し中止になり、新会員納涼歓迎会などは延期になりました。代わりに 11 月には職場見学会、秋の家族会と新会員歓迎会を兼ねて香雪美術館・逸翁美術館を堪能し雅俗山荘でおいしいフランス料理を頂きました。10 月以降はほぼ予定通り例会を開くことができました。春の家族会では和泉市の久保惣美術館・堺の HAMONO ミュージアムを鑑賞・見学し日本の古典美術・伝統技術を体験しました。例年通り社会福祉協議会を通して子供食堂への寄付、ミス大阪ユニバース代表との触れ合いを楽しんだ年末家族会、新年互例会も開催できました。さらにタイ王国のシーサン・ウォン・スコータイ病院への GG を使った寄贈も実行出来ました。豊中ロータリークラブの奨学生としてはママヒット君が学位を取りフランスのエミレ君も学位を取りました。豊中ロータリークラブの奨学生として新しく中国の XU Ran さんが選ばれました。米山奨学生としてネパールのバストラ・スミタさんの次に内蒙古出身のアジサイハンさんが採用されました。

最後に理事の皆様のおかげで会長職を最低限こなし、宮田会長エレクトに引き継げることを感謝しております。

2) 幹事職務

幹 事 岩 本 洋 子

2022 年度は中井稔会員の死去(91 才)、北村公一会員(86 才)と木村正治会員(96 才)の老齢を理由とする退会、野村証券豊中支店の閉鎖(梅田支店と併合)、コロナ禍での 9 月例会の休会、出席率の低下、会員の老齢化など、困難なロータリー運営年となりました。会員数は期首の 34 人から 6 月現在で 31 人に減少しました。

その中でも以下のような豊中の地域社会に根ざした奉仕を続けられたのは、これまでの豊中ロータリークラブ独自の方向性と実績があったからだと考えます。

1. こども食堂への寄付はお米1トンと地元業者の作ったレトルトカレーを、豊中市社会福祉協議会を通じて地域のこども食堂に寄付しました。地区補助金を頂いています。

2. タイのシーロムロータリークラブとの GG で、タイ国スコータイ県の病院に医療機器を寄付しました。

3. コロナ禍でも会員の親睦を積極的に行い、秋の家族会、春の家族会、年末家族会、新年互礼会、春・秋の親睦ゴルフコンペなどを催行しました。

4. 留学生の支援として、奨学金以外に日本文化により深く親しんでもらうため食事会や家族会に留学生を積極的に招待しました。

クラブとして、例会数の削減、クラブ会計のデジタル化、各種文書のデータ化など、クラブ運営の簡素化に向けて、ここ1～2年が改革の努力のしどきであると思います。

2. 各種委員会

1) クラブ奉仕委員会(職業分類・会員選考)

委員長 武枝 敏之

クラブの機能を充実させるために、クラブ内で会員がとるべき行動に関わるものがクラブ奉仕となっている。昨年度は、会員の高齢化等による退会者があり会員数の減少が止まらなかった。その為、新入会員の勧誘とクラブイメージ向上のため、ホームページの更新を実施した。さらに、衛星クラブ発足のため、準備をしている。

次年度への要望といたしましては、会員増強には、楽しいクラブであることが一番と考えます。親睦委員会とともに、楽しく充実したクラブ運営に努めていただきたいと思います。

職業分類におきましては、6月27日にご入会の古澤伸之会員の職業分類作成のためサービス業の中に広告業を追加いたしました。次年度の会員選考委員会といたしましては、会員増強委員会と共に会員増強に力を入れていくことをお願い致します。

① 会員増強委員会

委員長 谷野桂子

今年度の会員増強委員会といたしましては、期首34名でのスタートでしたが残念なことに6名の退会者を出してしまいました。6名の退会者のうち高齢が理由とされるご退会者が3名、仕事の都合が3名ということで避けようのない退会となりました。しかし、新規入会者が3名でしたので現在の会員数は31名となっております。会員の高齢化はどうしようもないことですが、これからは、いかにして若い方のご入会を募っていくかを考え直さなくてはならないと考えます。楽しいクラブであることのアピールが大事ではないでしょうか。

② 親睦委員会

委員長 豊島了雄

2022-23年度親睦委員会の活動報告をさせていただきます。

- ・9月25日(日) 秋の親睦ゴルフ 場所は蒲生ゴルフ倶楽部、参加者10名
- ・11月20日(日) 職場見学と秋の家族会(新会員歓迎会)

職業奉仕委員会と共に開催、中之島の江雪美術館を訪問し、その後池田の逸翁美術館へ、懇親会は雅俗山荘にて開催いたしました。コロナ禍で延期になっていた新会員歓迎会も併せて池田氏の雅俗山荘で行いました。対象の新会員は、藤田、立石、志村各会員です。雅俗山荘は阪急電鉄をはじめとする阪急東宝グループの創業者の旧邸です。阪急電鉄の歴史にも触れられ意義深い歓迎会となりました。

・12月10日(土) 年末家族会

ホテル阪急インターナショナルにおいて開催いたしました。総勢 45 名の会員とご家族にご参加頂き、賑やかな会となりました。

・2023年4月9日(日) 春の家族会

久保惣美術館に行き、その後堺伝統会館・堺 HAMONO ミュージアムを訪問、懇親会は ANA クラウンプラザホテルの“花梨”に行きました。インドネシアから来られていた Mamahit 君のお母様も飛び入り参加して下さり、賑やかな懇親会となりました。

・2023年5月28日(日) 春の親睦ゴルフ

茨木国際ゴルフ倶楽部にて総勢 11 名での親睦ゴルフでした。当日はお天気も良く清々しい一日を過ごせました。

親睦委員会としての大きな活動は以上ですが、これ以外にも親睦委員会の仕事はたくさんあります。例会時の受付作業や例会進行のお手伝い、写真を撮るのもその一つですし、お客様のご紹介、例会出席数報告等がございます。

親睦委員会の皆様のご協力のお陰でやり遂げられましたことに感謝し、お礼申し上げます。有難うございました。

③ 雑誌・広報・会報委員会

委員長 澤木政光

都井会長年度発足間もない 8 月下旬に新型コロナウイルスの流行第 7 波で死者が連日 200 人を超え、8 月 23 日には 343 人と過去最多を更新し、その煽りを食らって、9 月は例会全休となりました。会員にとってクラブ現況を知る上で大事なメディアであり、クラブ史編集の最重要資料である週報の内容充実をはかる意欲も出鼻をくじかれた思いでした。しかし、11 月頃からコロナ感染も下火になり、例会も通常通り開催されるようになり、事務局の松宮様の素晴らしい紙面作りと委員の皆様のご協力のお陰で立派な週報ができました。RC 会員以外の一般の方々にも広報を兼ねて読んでいただきたいと思います。

ロータリーの機関雑誌・地域雑誌のロータリーの友は国内外における各種のロータリー情報を満載しており、毎月第 2 週(都合により第 3 週)の火曜日の例会で会員の皆様に推奨記事を紹介し、ロータリー精神の養成、ロータリー活動への寄与をはかってまいりました。

〇HP(ホームページ)担当

委員長 村司辰朗

ホームページ担当では、週報の更新が主な作業でした。そのためホームページ全体の情報の更新はほとんどされず担当として反省しています。

掲載される情報は、事務局、会長、幹事からのもので、ホームページ担当から積極的に発信しなかったことが原因でした。

次年度は業者の手を借りて見やすく、もっとスピーディに更新ができるものと確信しています。

2)職業奉仕委員会

委員長 村司辰朗

職業奉仕委員会では、職場見学会と職業奉仕月間にちなんでの卓話とフォーラムを実施しました。職場見学会は過去2回の美術館巡りに引き続き、今回も職業を通して成功を収めた事業人が設立した美術館での美術鑑賞でした。

今回訪ねた中之島香雪美術館は、神戸御影にある香雪美術館に次いで、平成 30 年3月に新たに中之島にオープンしたものです。江戸末期の三重県に生まれた村山龍平は若干 28 歳で朝日新聞を創刊し、日本を代表する新聞に育てました。その彼が収集した日本、東洋の古美術コレクションなどを収蔵する美術館です。因みに美術館の名前に冠する「香雪」は龍平の雅号ということです。

職業奉仕月間に因んでの卓話は「職業奉仕月間に寄せて」と題して発表しました。話の大枠は、ロータリーの目的、ロータリアンの行動規範、4つのテストについてでした。

2022年8月に行われた、クラブ職業奉仕委員長会議の中で、各クラブで独自に卓話とフォーラムを開催するよう推奨されたことを踏まえて、委員長として卓話とフォーラムを実施しました。フォーラムでは、冒頭武枝ガバナー補佐エレクトに職業奉仕に関するお話をしていただき、参加者の会員にご意見を発表していただきました。

今回地区へ卓話の要請をせずに自前で卓話とフォーラムを開催したことは、自分自身も職業奉仕について考える機会が持ててよかったことだと思います。

一年間ご協力いただいたことに感謝申し上げます。

3)社会奉仕委員会

委員長 眞下 節

2022～23 年度の社会奉仕委員会の活動報告を述べさせていただきます。

今年度の事業内容は、1.とよなか市民環境会議の「社会を明るくする運動」に参加する事、2.社会奉仕月間において卓話および社会奉仕フォーラムを開催すること、そして留学生支援委員会に協力するかたちで大阪大学の留学生支援を行うことです。今年度、「社会を明るくする運動」に参加する形で子ども食堂への食材の寄付を行いました。令和 4 年 3 月に小川幹事(当時)によって地区補助金の申請が行われ、国際ロータリー第 2660 地区から交付された 393,176 円の地区補助金を含めて 800,000 円分のお米とレトルトカレーを中心とした食材を子ども食堂に寄付しました。

今年度の事業 2.として、社会奉仕月間の 3 月 28 日例会において豊中市社会福祉協議会事務局長の勝部麗子氏を講師に招聘し、「子どもの貧困 一人も取りこぼさない社会を目指して～食のアウトリーチの可能性～」のタイトルで卓話をいただきました。我が国における子供の貧困の現状や、孤独を感じている子供の高い割合などから子ども食堂の果たす役割の大きさを知り、改めて子ども食堂の支援の重要性を再認識しました。

○留学生支援担当

委員長 宮田幹二

豊中 RC の留学生支援奨学金は、大阪大学大学院理学研究科と基礎工学研究科の博士後期課の私費留学生に、毎月6万円が支給されています。この豊中 RC 奨学金は、生活支援に加えて、ロータリーの心を通してのロータリアンとの親睦が特徴であり、異文化理解と国際交流のための国際奉仕活動の一つです。

前年度の豊中 RC 奨学生は、Yugoviandi Primanda Mamahit 君(インドネシア、支給期間; 2019年10月から2022年12月、研究:糖蛋白質の生理学的役割)と Emre Yesil 君(フランス、支給期間; 2022年4月から2022年9月まで、研究:有機超電導体の構造と物性)でした。両君は博士学位を取得し、御祝品を授与しました。1月からの新しい奨学生は、Xu Ran さん(中国、支給期間; 2023年1月から2025年3月(予定)、研究:染色体異常の発生メカニズム)です。

国際奉仕委員会カウンセラーを中心に親睦を深めました。例会出席(義務として月一回)、卓話、歓迎会、送別会、学位取得祝賀会、春・秋・年度末の家族会、新年会、ゴルフ、会員の自由企画による各種懇親会(夕食会、会員宅訪問、バーベキュー、ハイキング、サイクリング、桜花見、蛍鑑賞など)を通して交流を深めました。

奨学資金(一人毎月6万円)は、留学生基金繰越金、各会員からの普通寄付(年間2万円(四半期毎5千円))、奉仕会計からの支援、会員からの特別寄付などで賄われました。詳しくは留学生支援収支報告書(2022.7.1~2023.6.30)を御覧ください。この豊中 RC 奨学金が縁となり、Mamahit 君の尊父が母国インドネシアで RC に入会されたとのことで、豊中 RC との縁が深まりました。

留学生への皆様の御理解と御支援に深く感謝致します。

4)国際奉仕委員会

委員長 横田広司

今年度は、前年度に申請したタイ大国の SILOM RC との GG(2236914)を実施いたしました。実施内容はタイ北部のスコートイ県にあるシーサンウォン・スコートイ病院における ICU 病棟に必要な人工呼吸器と心電図測定装置の寄贈で、プロジェクトの総額は\$47000でした。

4月25日の国際奉仕フォーラムにおいて、今後の国際奉仕活動や GG の在り方について多くのご意見を頂きました。SNS やリモートを利用し現地の状況や活動を会員の皆さんにご覧いただき、より一層親近感のもてる国際奉仕活動にしていければと強く感じました。

会員の皆さん、事務局の松宮さん、一年間ご協力いただきありがとうございました。

○カウンセラー

担当 会長、会長エレクト、直前会長、幹事、五大奉仕委員長

豊中 RC の国際奉仕活動の一つとして、豊中 RC 留学生や米山奨学生との親睦を図り、異文化理解と国際交流を深めました。この活動は、ロータリーの心を通しての、ロータリアンとの親睦が特徴であり、五大奉仕活動と密接に関係します。さらに、有志会員による、個性的な交流活動(茶話会、食事会、会員宅招待、ハイキング、観劇など)を促進し、支援しました。

会長、会長エレクト、直前会長は、活動全般を担い、責任者になりました。幹事は、有志会員による個性的な交流活動の窓口になり、留学生や会員への広報を担いました。クラブ奉仕委員長は、例会での出欠席や卓話、家族会、新年会、歓送迎会などに関与しました。職業奉仕委員長は、秋の家族会(職場見学を兼ねる)を通して、職場案内を行いました。社会奉仕委員長は、第2660 地区補助金に関与し、補助金の管理、各種書類の作成に携わりました。国際奉仕委員長と青少年奉仕委員長は、豊中 RC と第 2660 地区の国際奉仕活動に貢献しました。

5) 青少年奉仕委員会

委員長 原 和永

今年度は社会奉仕と協力して、2660 地区の補助金も頂き、子供食堂に 80 万円を寄付致しました。

5 月 23 日の青少年フォーラムでは、株式会社脳レボの川谷潤太氏に講師として来て頂き「甲子園・日本一のチームが実践する次世代の人材育成」と題してお話をして頂きました。川谷氏の話聞き、「現在の教育システムでは子供達の能力を上げることはできない。」と青少年奉仕委員の立場として痛感した次第です。子供達の意識を外向性に向けて意欲的に活動して未来に向かうように導くことが、私達大人の役目だと思います。

明るい未来に向かう青少年の人材育成として考えさせられる 1 年でありました。

ありがとうございました。

6) R 財団・R 情報・研修委員会

委員長 北村 公一

代筆 岩本 洋子

北村会員が 2022 年 10 月、85 才をもって退会されましたので、岩本洋子が代筆でレポートします。

ロータリー財団は、ロータリアンとして

- (1) 財団に寄付をすること
- (2) 財団の資金を利用して頂いて奉仕をすること

この両面の活動です。

豊中ロータリークラブは、ロータリー財団への年次寄付1人 150 ドルを会費の徴収の時に、少し上乗せして1人 160 ドルを徴収させて頂くという方法で、自然に寄付を集めています。コロナ禍で例会が思うように開催できなかった昨年度も、この方法により上手に寄付が達成できました。

もうひとつの、ロータリー財団の資金を利用して頂いて奉仕をすることも、社会奉仕委員会と国際奉仕委員会のご尽力により、達成できました。

(1) 豊中のこども食堂にお米1トンとレトルトカレーを寄付しました。ロータリー財団から 2660 地区に配分された DDF 資金約 39 万円を頂きました。クラブとしては約 40 万円を拠出しています。

(2) タイ国シロームロータリークラブと協力して、ロータリー財団資金(WF)1万6000ドルと2660地区補助金(DDF)2万ドルを利用させて頂き、豊中ロータリークラブの資金5170ドル(1ドル145円換算で74万9650円)によって、タイ国スコータイ県の病院へ4万7000ドル(同681万5000円)の医療機器の寄付奉仕ができました。

74万9650円のクラブ資金を「テコ」にして681万5000円の奉仕ができるのは、ロータリー財団の魅力です。

7) 米山奨学委員会

委員長 小寺潤一

2023年3月で『バストラ・ススミタ』さんに対する支援が終了しました。2年間の支援でしたが奨学金のみならずコロナ渦にもかかわらずカウンセラーをはじめメンバーの皆様のフレンドシップのおかげで彼女自身大変感謝しておられたと思います。また、2023年4月より中国出身の『アジサイ・ハン』さんに2年間の支援が始まります。

継続して米山奨学生を支援できるという豊中RCの先人からの力に感謝するとともにこれからも奨学生たちに温かく接していただきたいと思います。また、奨学生支援の原資となります米山奨学金寄付に対して沢山のご協力をいただきましたことをこの場を借りてお礼申し上げます。

○米山カウンセラー 岩本洋子

2023年3月、ネパールからの留学生バストラ・ススミタさんが大阪女学院大学で博士号を授与されました。

岩本は、2023年3月15日、大阪女学院大学ホールチャペルでの博士号授与式に出席しました。バストラ・ススミタさんの兄上もネパールから来日されました。式はすべて英語で進められ、バストラ・ススミタさんが日本語だけでなく英語もお上手であることを実感しました。

バストラ・ススミタさんは「平和教育」が研究テーマです。彼女のレポートでロータリーが異文化交流と平和な世界づくりに貢献することを目指していることを理解してくれていることがわかりました。2年間の米山奨学生としての経験が、そのことを実感させてくれたのだと信じています。

バストラ・ススミタさんと参加した日帰り旅行、家族会、ホームパーティ、これらの機会を作って下さった豊中ロータリーのメンバー、2660地区ロータリアン、米山学友会の皆さんに感謝します。

彼女はあと2年間ぐらい日本にいて、日本でキャリアを積んで、ネパールへ帰国して、ネパールで平和教育の実践をすることを目指しています。バストラ・ススミタさんだけでなく、豊中ロータリーのメンバー全員が、2年間の米山奨学金の授与に感謝しています。大阪女学院大学で、多くの先生方から、「うちの留学生が米山奨学金のお世話になっています。ロータリーに感謝しています。」とお声をかけて頂きました。

8)クラブ史編集・規定細則委員会

委員長 米田 眞

本年度は当クラブとして特別な行事はありませんでした。
豊中ロータリークラブの内規の改正を行いました。
26条と29条の入会金に関する改正です。入会金 10 万円は会員数が 40 名に達するまでは免除することとしました。

9)未来計画委員会

委員長 北村 公一

代筆 岩本 洋子

当委員会の北村公一委員長が、2022年10月(令和4年10月)85才になられたのを機に退会されましたので、幹事岩本が代筆いたします。

北村委員長は退会される前にクラブの未来計画を考えるうえで必要と思われて、クラブの全会員にアンケート調査を実施され、それを集計されました。

多項目にわたるもので、全部をご紹介はできませんが、印象としては、会員が現在の豊中ロータリーの奉仕活動について、大変満足している、よくやっている、ロータリーの精神に合致している、と評価していることがはっきりと出ていたと思います。

一方、高齢化、会員数の減少、これまでの慣例の希薄化など、「古き良き時代」に戻れないかと示唆する意見も紹介されました。

北村公一元会員は「きびしい意見を言う人は、すべての項目にきびしく、辛口ですね」と感想を言われたことを思い出します。

未来計画を考えるうえで、高齢化、会員数の減少、慣例の簡素化を前提とした、何らかの計画を、急激でなくても、少しずつ実現していくべきであると考えます。

10)SAA

松山辰男

新型コロナウイルスが終息しないまま3年目の2022～23年度が始まり、変則的な例会が、1年間続くことになってしまいました。ただ、例会が休会になることはなく、今後の対応が模索されてきた1年だったと思います。新年度には、コロナ前の、格式の高い、そして楽しい例会が復活することと思います。会員が減少しているため、ニコニコ箱寄付が減少し、今後の奉仕会計への対策が課題と思います。

Rotary

Toyonaka



前年度(2022～23年度)

会 計 報 告

(付)

収支計算書 (一般会計)

収支計算書 (奉仕会計)

財産目録

会計監査

豊中ロータリークラブ

一般会計(2022-23年度)

【収入の部】

(単位:円)

科 目	予算	実績	内 訳(実績)
1. 前期繰越金	2,812,388	2,812,388	
2. 通常会費	10,500,000	9,875,000	年会費 30 万円/人(四半期毎75,000円)
3. 特別会費	2,449,000	1,760,850	地区大会(資金/登録料)、R財団寄付、米山財団
4. 豊中RC奨学金	680,000	960,000	2万円×31人(四半期毎5,000円)、特別寄付(30万円)
5. 来客登録料	36,000	18,000	3000円/人
6. 入会金・寄付・雑収入	200,000	87,152	入会金無しに変更、寄付、R手帳、利息など
合 計	16,677,388	15,513,390	

【支出の部】

(単位:円)

科 目	予算	実績	内 訳(実績)
1. RI人頭分担金	350,350	333,714	70\$×140円×34人
2. 第2660地区	1,260,000	1,206,100	
・地区運営資金	350,000	344,250	5,000円×34人×2(前期/後期)+4250円(新会員)
・地区活動資金	245,000	238,000	3,500円×34人×2(前期/後期)
・地区大会資金	175,000	170,000	5,000円×34人
・地区大会登録料	175,000	165,000	5,000円×33人
・地区研修・協議会分担金	90,000	90,000	90,000円(会員数30-50人未満)
・IM第1組Rデー分担金	175,000	85,000	
・各種R会合参加費	50,000	113,850	会長幹事会、晩餐会、記念式典、PETS、FRなど
3. R財団	1,274,000	1,315,400	
・R財団年次基金寄付	784,000	788,800	160\$×145円×34人
・R財団ポリオプラス寄付	294,000	334,200	(60\$×130円×34人=265,200円)+(募金69,000円)
・R財団恒久基金寄付	196,000	192,400	40\$×142円×34人
4. 奨学金	910,000	1,264,000	
・米山財団普通寄付	210,000	204,000	6,000円×34人【特別寄付:680,000円】
・豊中Rクラブ奨学金	700,000	1,060,000	20,000円/人、特別寄付(40万円)
5. Rの友・手帳・要覧	147,000	119,785	Rの友(1650円/半期)、R手帳 700円
6. 例会費・交際費	4,348,900	3,394,374	
・例会食費(室料を含む)	3,948,900	3,050,759	食費一人、約3500円
・会議室使用料	200,000	86,150	クラブ協議会、情報集会、トークイン桜 など
・交際費	200,000	257,465	慶弔費、御見舞、名刺など
7. 事務管理費	5,266,520	4,914,057	
・人件費	1,140,000	1,140,000	95,000円×12
・外注費	2,335,000	2,335,000	175,000円×12、夏75,000円、冬160,000円
・事務室借室料(電気代も)	984,000	902,660	平均80,000円
・通信費(NTT)	223,000	200,869	平均15,000円
・什器備品・複写機	44,520	25,740	複写機リース料など
・消耗品費	300,000	188,153	印刷用紙、ソフトウェアなど
・諸雑費	240,000	121,635	郵便、宅急便、振込、振替など
8. 奉仕活動助成金	700,000	700,000	
9. 周年記念行事積立金	200,000	200,000	
10. 事務局慰労金積立金	100,000	100,000	
11. 予備費	2,120,618	400,000	退職金
12. 次年度繰越金	0	1,565,960	前期繰越金からの増減(-1,246,428円)
合 計	16,677,388	15,513,390	

奉仕会計（2022—23年度）

【収入の部】

（単位：円）

科 目	予算	実績	内訳
1. 前期繰越金	1,441,250	1,441,250	
2. ニコニコ箱寄付金	2,500,000	2,230,774	利息を含む
3. 一般会計より受入金	700,000	700,000	
4. 留学生基金から受入金	1,440,000	960,000	
合 計	6,081,250	5,332,024	

【支出の部】

委 員 会	予算	実績	内訳
1. クラブ奉仕委員会	590,000	508,645	会員証・グッズ12,265円 会員名簿112,640円 クラブ現況157,740円、ピアノ伴奏料226000円
2. 親睦委員会	800,000	813,673	職場見学と秋の家族会 支出450,969円 収入267,000円 委員会支出額183,969円 年末家族会 支出981,822円 収入568,000円 委員会支出額413822円 春の家族会 支出535,882円 収入320,000円 委員会支出額215,882円 創立記念日例会（一般会計支出 214762円）
3. 雑誌・広報・会報委員会	60,000	0	ホームページ改修 SNS対応
4. 職業奉仕委員会	150,000	107,300	職場見学バス代107,300円
5. 社会奉仕委員会	450,000	456,564	子供食堂拠出金351,264円【地区補助金393,176円】 青森豪雨支援金5万円 【募金:トルコ大地震 202,500円】 豊中祭2万円 豊中市環境展1万円 豊中市美術展25,300円
（留学生支援金）	1,440,000	960,000	奨学金900,000円(毎月6万円×15) 学位取得御祝金(3万円×2人)
6. 国際奉仕委員会	800,000	725,531	GG2236914 拠出金722,431円 サンマテオ年会費 3100円
7. 青少年奉仕委員会	180,000	206,560	子供食堂拠出金55,560円 RYLA登録料51,000円 フォーラム謝礼100,000円
8. 教育問題検討委員会	10,000	0	
9. R財団委員会	40,000	0	
10. 米山奨学委員会	10,000	10,000	米山梅吉記念館寄付【寄付総額: 884,000円】
11. SAA	480,000	266,520	お祝い品購入
12. 雑費	0	8,521	
13. 留学生基金積立金	200,000	0	
14. 特別事業準備積立金	100,000	100,000	
15. 予備費	761,250	0	
16. 次年度繰越金		1,168,710	前期繰越金からの増減(-272,540円)
合 計	6,081,250	5,332,024	

地区補助金

DDF/GG2236914 国際奉仕 タイへの医療機器贈呈	\$ 20,000(1ドル133円)補助金 2,660,000円 クラブ拠出金 722,431円 計 3,382,431円
DG2022 社会奉仕 子ども食堂への食材寄付	\$ 2,891(1ドル136円)補助金 393,176円 クラブ拠出金 406,824円 計 800,000円

留学生基金

収入(1,983,920) : 前年度繰越金(923,912),一般会計受入金(660,000),特別寄付(400,000),利息(8)
支出(966,380) : 留学生奨学金(900,000),御祝(60,000),雑費(6,380)
次年度繰越金(1,017,540) 特別寄付: 岩本会員(300,000), 都井会員(100,000)

財 産 目 録

(単位:円)

科 目	金 額	
資 産 の 部	2022年6月30日	2023年6月30日
普通預金		
三井住友信託銀行		
一般会計 No.0029993	2,812,388	1,565,960
奉仕会計 No.0030037	1,441,250	1,168,710
特別記念行事積立金 No.0030029	4,346,551	4,246,586
周年記念行事積立金 No.0030045	1,725,476	1,925,483
事務局慰労金 No.0030002	1,136,232	135,467
留学生基金 No.0030010	923,912	1,017,540
地区補助金 No.0031564	0	0
資 産 合 計	12,385,809	10,059,746
負 債 の 部		
未 払 金	0	0
預 り 金	0	0
負 債 合 計	0	0
正味財産額	12,385,809	10,059,746

会 計 監 査

当クラブ細則第10条・第2節に基づく、理事会の指名を受け、2022～2023年度の会計事務について慎重なる監査を行った結果、適正であると認めましたので、その旨報告いたします。

2023年 9月 5日

会計監査

矢野 昭



佐川 正治

